

2025年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年8月9日

上場会社名 株式会社銀座山形屋 上場取引所 東
コード番号 8215 URL https://www.ginyama.co.jp
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 小口弘明
問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部長 (氏名) 瀬戸山英児 TEL 03-6866-0276
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無：無
決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2025年3月期第1四半期の連結業績（2024年4月1日～2024年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期第1四半期	995	5.0	30	14.1	60	7.9	47	△43.0
2024年3月期第1四半期	947	2.2	26	△11.6	55	△13.3	82	58.2

(注) 包括利益 2025年3月期第1四半期 86百万円 (△18.8%) 2024年3月期第1四半期 106百万円 (-%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期第1四半期	27.44	-
2024年3月期第1四半期	48.10	-

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年3月期第1四半期	3,919	2,305	58.8
2024年3月期	3,819	2,261	59.2

(参考) 自己資本 2025年3月期第1四半期 2,305百万円 2024年3月期 2,261百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期	-	0.00	-	25.00	25.00
2025年3月期	-	-	-	-	-
2025年3月期(予想)	-	0.00	-	30.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2025年3月期の連結業績予想（2024年4月1日～2025年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	1,774	6.4	△106	-	△83	-	△93	-	△53.94
通期	4,005	5.8	114	78.1	150	35.1	130	44.4	75.40

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無
新規 -社 (社名)、除外 -社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

2025年3月期1 Q	1,804,471株	2024年3月期	1,804,471株
2025年3月期1 Q	79,728株	2024年3月期	79,728株
2025年3月期1 Q	1,724,743株	2024年3月期1 Q	1,724,903株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的である判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(会計方針の変更に関する注記)	7
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	7
(セグメント情報等の注記)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における我が国経済は、円安に伴うコスト負担の増加や個人消費の落ち込みなどマイナス要因が見られ、インバウンド需要につきましても新型コロナウイルス感染症問題からの回復基調が鈍化しました。一方で海外では、米国大統領選の行方や長期化するロシア・ウクライナ情勢など引き続き不透明な状況が続いています。

小売業界におきましては、エネルギーコストの高止まりや消費財の値上げ等により、実質賃金が減少していることから、個人消費が低迷しています。

このような環境の中、弊社のオーダースーツ販売は本年1月の価格見直しを実施したことにより売上高は概ね堅調に推移しました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の経営成績は、売上高9億95百万円（前年同四半期比5.0%増）となりました。販売費及び一般管理費は人件費の上昇等により5億16百万円（前年同四半期比3.9%増）となり経常利益は60百万円（前年同四半期比7.9%増）となりました。また、親会社株主に帰属する四半期純利益は47百万円（前年同四半期比43.0%減）となりました。

セグメントごとの業績は、次の通りです。

小売事業

本年1月の価格見直しにより売上高は昨年度を上回り、損益面でも昨年度を上回ることができました。その結果、売上は6億19百万円（前年同四半期比5.4%増）、営業利益48百万円（前年同四半期比48.4%増）となりました。

卸売事業

一部展示会の中止等ありましたが、概ね順調な受注環境となり、売上高は昨年度を上回り、損益面でも昨年度から若干改善することができました。

その結果、売上高2億8百万円（前年同四半期比8.3%増）、営業損失9百万円（前年同期は11百万円の営業損失）となりました。

受託縫製事業

売上高は昨年度を若干上回りましたが、受託業者間の競争が厳しく、損益面では昨年度を下回りました。その結果、売上高1億67百万円（前年同四半期比0.1%増）、営業利益2百万円（前年同四半期比81.5%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末と比較して1億円増加し、39億19百万円となりました。

資産の部では、流動資産が前連結会計年度末と比較して62百万円増加しました。これは現金及び預金並びに原材料が前連結会計年度末と比較して増加したこと等によるものであります。

固定資産は前連結会計年度末と比較して37百万円増加いたしました。これは主に投資有価証券の時価が増加したことによるものであります。

負債の部では、前連結会計年度末と比較して56百万円増加し、16億13百万円となりました。これは、主に買掛金等の増加によるものであります。

純資産の部においては、親会社株主に帰属する四半期純利益47百万円を計上した一方で、剰余金の配当43百万円を実施した結果、当第1四半期連結会計期間末の株主資本は、23億31百万円となりました。

また、その他有価証券評価差額金は39百万円の増加でありました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第1四半期までの業績につきましては、概ね計画どおり推移しております。2025年3月期の業績予想につきましては、2024年5月13日に公表いたしました連結業績予想に変更はございません。

なお、この予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報を前提としております。実際の業績は今後様々な要因により大きく異なる結果となる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,010,887	1,158,821
受取手形及び売掛金	419,300	318,282
商品及び製品	142,250	133,901
仕掛品	16,082	15,897
原材料	87,996	107,392
その他	64,687	69,640
貸倒引当金	△179	△163
流動資産合計	1,741,025	1,803,770
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	163,155	158,885
その他（純額）	184,211	188,760
有形固定資産合計	347,367	347,645
無形固定資産		
その他	36,888	31,061
無形固定資産合計	36,888	31,061
投資その他の資産		
投資有価証券	987,781	1,031,329
敷金及び保証金	556,705	556,359
繰延税金資産	13,136	12,417
その他	136,599	136,622
貸倒引当金	△493	—
投資その他の資産合計	1,693,730	1,736,728
固定資産合計	2,077,985	2,115,435
資産合計	3,819,011	3,919,206
負債の部		
流動負債		
買掛金	198,529	230,906
未払法人税等	17,023	6,401
その他	529,993	556,347
流動負債合計	745,546	793,655
固定負債		
役員退職慰労引当金	124,204	125,971
退職給付に係る負債	438,139	438,992
資産除去債務	196,028	196,065
繰延税金負債	41,922	47,964
その他	11,494	11,260
固定負債合計	811,790	820,254
負債合計	1,557,336	1,613,909

（単位：千円）

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	100,000	100,000
資本剰余金	2,188,805	2,188,805
利益剰余金	120,453	124,656
自己株式	△81,793	△81,793
株主資本合計	2,327,466	2,331,669
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△65,791	△26,372
その他の包括利益累計額合計	△65,791	△26,372
純資産合計	2,261,675	2,305,296
負債純資産合計	3,819,011	3,919,206

（2）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 （四半期連結損益計算書）
 （第1四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第1四半期連結累計期間 （自 2023年4月1日 至 2023年6月30日）	当第1四半期連結累計期間 （自 2024年4月1日 至 2024年6月30日）
売上高	947,951	995,779
売上原価	424,542	449,270
売上総利益	523,408	546,509
販売費及び一般管理費	496,877	516,237
営業利益	26,530	30,271
営業外収益		
受取利息	17	16
受取配当金	27,674	27,260
雑収入	3,020	2,580
営業外収益合計	30,711	29,856
営業外費用		
支払利息	822	11
雑損失	710	-
営業外費用合計	1,533	11
経常利益	55,709	60,116
特別利益		
投資有価証券売却益	38,898	-
特別利益合計	38,898	-
特別損失		
減損損失	1,591	-
特別損失合計	1,591	-
税金等調整前四半期純利益	93,016	60,116
法人税、住民税及び事業税	8,789	10,162
法人税等調整額	1,263	2,633
法人税等合計	10,052	12,795
四半期純利益	82,963	47,321
親会社株主に帰属する四半期純利益	82,963	47,321

（四半期連結包括利益計算書）
 （第1四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第1四半期連結累計期間 （自 2023年4月1日 至 2023年6月30日）	当第1四半期連結累計期間 （自 2024年4月1日 至 2024年6月30日）
四半期純利益	82,963	47,321
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	23,833	39,418
その他の包括利益合計	23,833	39,418
四半期包括利益	106,797	86,740
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	106,797	86,740

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更に関する注記)

(「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」等の適用)

「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」（企業会計基準第27号 2022年10月28日。以下「2022年改正会計基準」という。）等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。

法人税等の計上区分（その他の包括利益に対する課税）に関する改正については、2022年改正会計基準第20-3項ただし書きに定める経過的な取扱い及び「税効果会計に係る会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第28号 2022年10月28日。以下「2022年改正適用指針」という。）第65-2項(2)ただし書きに定める経過的な取扱いに従っております。これによる四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

また、連結会社間における子会社株式等の売却に伴い生じた売却損益を税務上繰り延べる場合の連結財務諸表における取扱いの見直しに関連する改正については、2022年改正適用指針を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。当該会計方針の変更は、遡及適用され、前年四半期及び前連結会計年度については遡及適用後の四半期連結財務諸表及び連結財務諸表となっております。これによる前年四半期の四半期連結財務諸表及び前連結会計年度の連結財務諸表に与える影響はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)
減価償却費	14,397千円	14,520千円

（セグメント情報等の注記）

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間（自2023年4月1日至2023年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント			合計
	小売事業	卸売事業	受託縫製事業	
売上高				
外部顧客への売上高	587,968	192,115	166,937	947,021
セグメント間の内部売上高又は振替高	-	-	333,799	333,799
計	587,968	192,115	500,737	1,280,820
セグメント利益又は損失(△)	32,364	△11,344	11,648	32,669

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

（単位：千円）

利益	金額
報告セグメント計	32,669
棚卸資産の調整額	1,501
その他の調整額	-
全社収益(注1.)	55,070
全社費用(注2.)	△62,711
四半期連結損益計算書の営業利益	26,530

（注1.）全社収益は、主に当社におけるグループ会社からの経営指導料、不動産賃貸収入等であります。

（注2.）全社費用は、主に当社におけるグループ管理に係る費用であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

（固定資産に係る重要な減損損失）

該当事項はありません。

（のれんの金額の重要な変動）

該当事項はありません。

（重要な負ののれん発生益）

該当事項はありません。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間（自2024年4月1日至2024年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント			合計
	小売事業	卸売事業	受託縫製事業	
売上高				
外部顧客への売上高	619,725	208,065	167,058	994,849
セグメント間の内部売上高又は振替高	-	-	354,596	354,596
計	619,725	208,065	521,654	1,349,445
セグメント利益又は損失(△)	48,040	△9,933	2,154	40,261

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

（単位：千円）

利益	金額
報告セグメント計	40,261
棚卸資産の調整額	1,699
その他の調整額	-
全社収益(注1.)	55,230
全社費用(注2.)	△66,920
四半期連結損益計算書の営業利益	30,271

（注1.）全社収益は、主に当社におけるグループ会社からの経営指導料、不動産賃貸収入等であります。

（注2.）全社費用は、主に当社におけるグループ管理に係る費用であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

（固定資産に係る重要な減損損失）

該当事項はありません。

（のれんの金額の重要な変動）

該当事項はありません。

（重要な負ののれん発生益）

該当事項はありません。